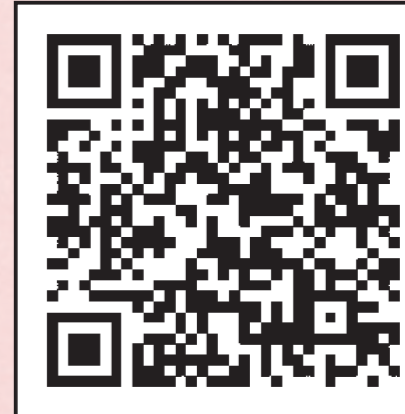




家づくり 体験談

フルバージョン
はこちら



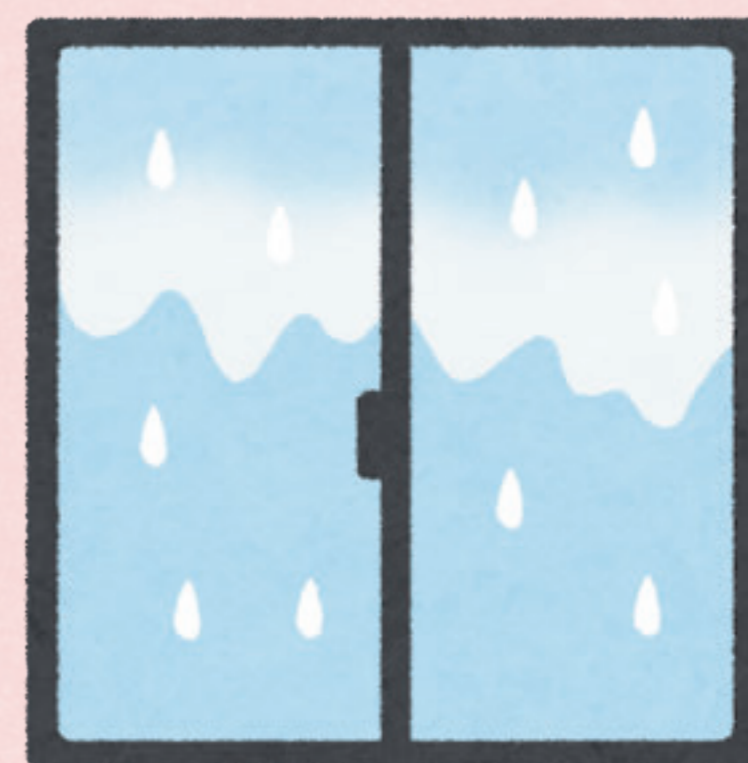
初めての家づくりはわからないことがたくさん。
家づくりのポイントとなる体験談をご紹介します！

窓



以前の住宅は窓ガラスの水滴を毎朝拭いていたけど、今の家は全然水滴がつかない。
断熱性能の高い窓にして良かった！

→窓の水滴は、断熱性能の高い窓や適切な換気で防げるもの。
家を新しく建てる時は、高い性能の窓にすると快適に過ごせますよ！



外壁



デザインで外壁を選んだが、数年後、
材料の変形や塗料のはがれが目についた。
**耐久性についても
きちんと聞いておくべきだった。**

→外装材の耐久性は家の耐久性にも関わります。
長持ちする建材で、家の構造躯体を守ってあげましょう。

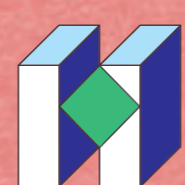
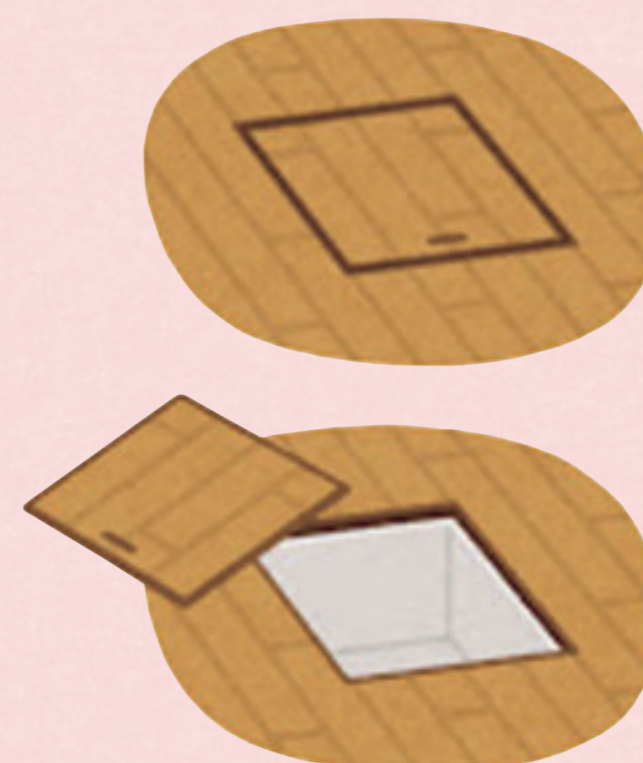


点検



床下点検口の位置を収納部屋に指定したが、
そこに DIY で棚を造作したため、**点検の時に棚や物を片付けるのが大変だった。**

→点検口は設備の配管や配線の点検・更新に必要なもの。
業者さんの出入りが伴うので、設置場所には注意しましょう。

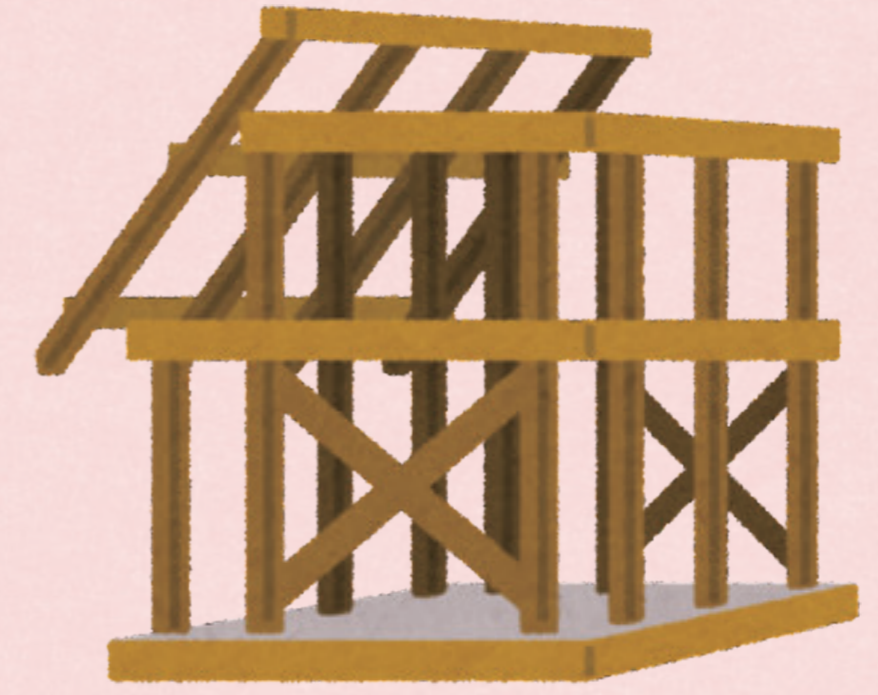


間取り



トイレの改修で、手すりも付けたいから広くしてほしいとお願いしたが、**構造上必要な筋かいがあり、出来ないと言われた。**

→間取りは将来のライフスタイルの変化に対応できるよう、構造上必要な柱や壁の位置は相談しておこう。



最近頻繁に地震が起きてるから不安。知り合いが地震に強い家にしたと聞き、**地震に強い家にしておけば良かった。**

→予測できない自然災害に対応しておく心安心。普段の生活には必要ないかなと思っても防災はいざという時の安心・安全につながります。

防災



設備・インテリア



照明器具をLEDにと勧められたが、費用がかさむので断った。隣の家は、LED照明を10年間1度も電球交換してないうえ、毎月の電気料金が安いと聞いた。

**今になって後悔。
今さら全部替えるには費用がかかる。**

→価格やデザインで選択するのはもちろんですが、設備は電気代なども抑えられ長持ちするものが増えていきます。普段の光熱費にも直結してくるので、維持費や光熱費が抑えられるものを選ぼう！



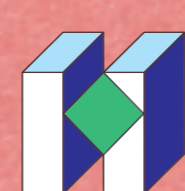
雪処理



冬のことを考えて無落雪屋根にしたけど、大きな**雪庇^{せっぴ}**※ができて隣の敷地に落下しないか不安。

→雪庇は無落雪屋根でも風下にできることがあります。その年の降雪量によっても違いはありますが敷地周辺の冬の風向きも考慮しておく心安心につながります。

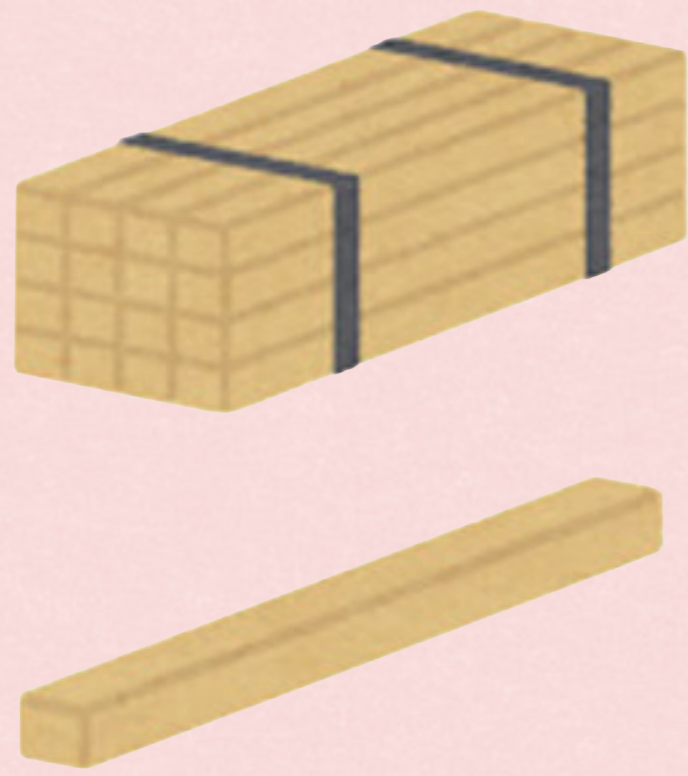
※雪庇：雪の積もった屋根から雪がせり出している状態



家づくりの体験談を
学んで・知って



家づくりの成功の種



間取り・外壁

長期利用に配慮した材料
の選択が長寿命を実現

1

長寿命

・長持ちする



点検

定期的・計画的な
メンテナンスに配慮

2

メンテナンス

・点検・補修
しやすい



防災・雪処理

いざという時の
家族の安心・安全

3

安心・安全

・災害に強い



窓

住んでからの快適さは
性能が大切

4

快適

・夏涼しい
・冬あたたかい



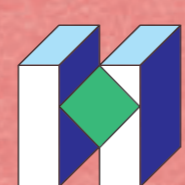
設備・インテリア

毎日使うからこそ
eco な選択

5

eco

・光熱費を抑える



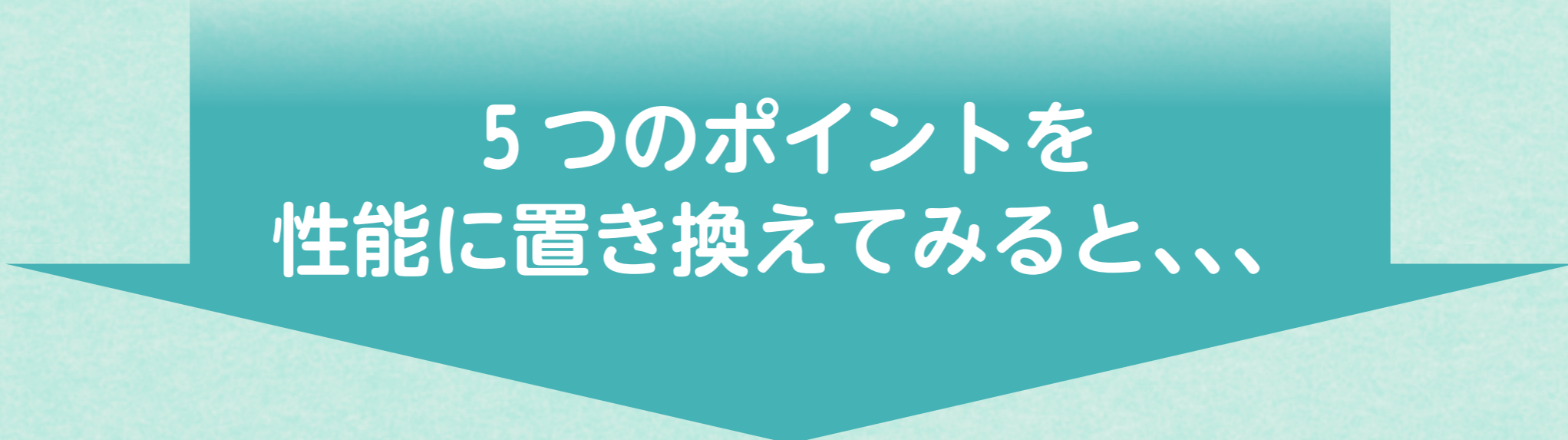
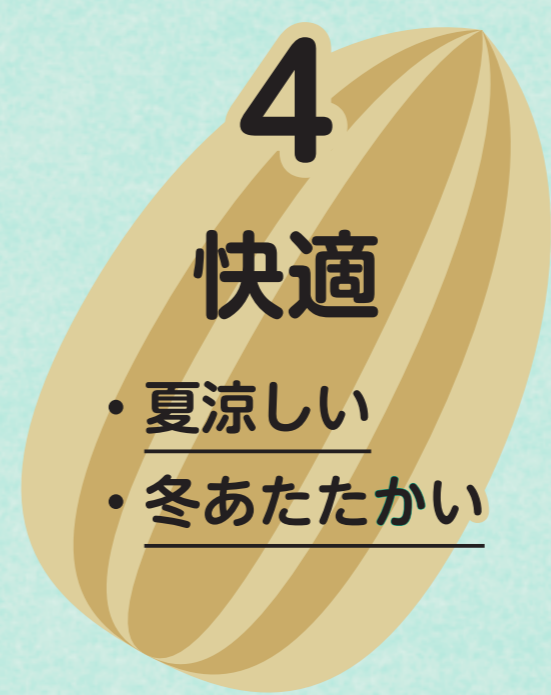
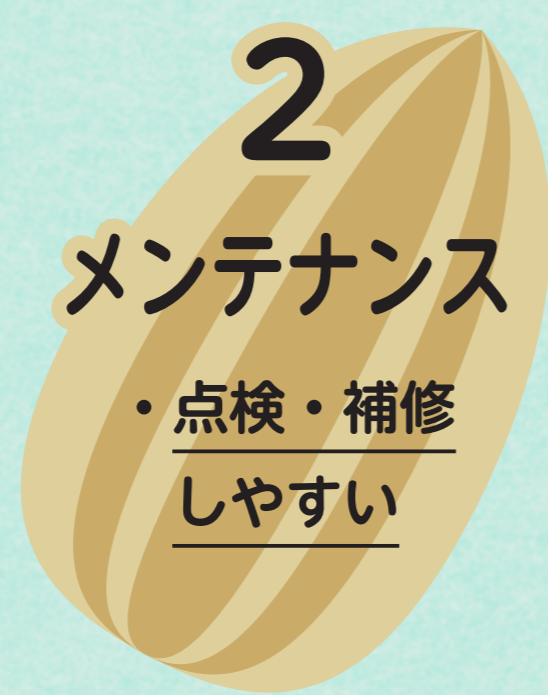


北海道の これからの家づくり



近年、道内で新築されている多くは良質な住宅ですが、知っておけば、
もっといい家づくりができたのに、、、ということもあるようです。

そこで！ 体験談から学び、家づくりに大切なポイントを5つご紹介！



構造材料の腐食を 防ぎ、長く使える	配管などの点検や 補修のしやすさ	地震時に倒壊しない	室内の暖かさを 保ち熱を逃さない	断熱性能に加え、 給湯・暖房・照明など 設備の省エネ性が高い
劣化対策	維持管理 対策	耐震性能	断熱性能	一次エネルギー 消費量^{※1}



家づくりに大切な性能は等級で表示することにより、
わかりやすく見える化しています♪

性能の等級は、国で定めた「住宅性能表示制度^{※2}」に基づき、
第三者機関^{※3}で審査を受け、表示します。

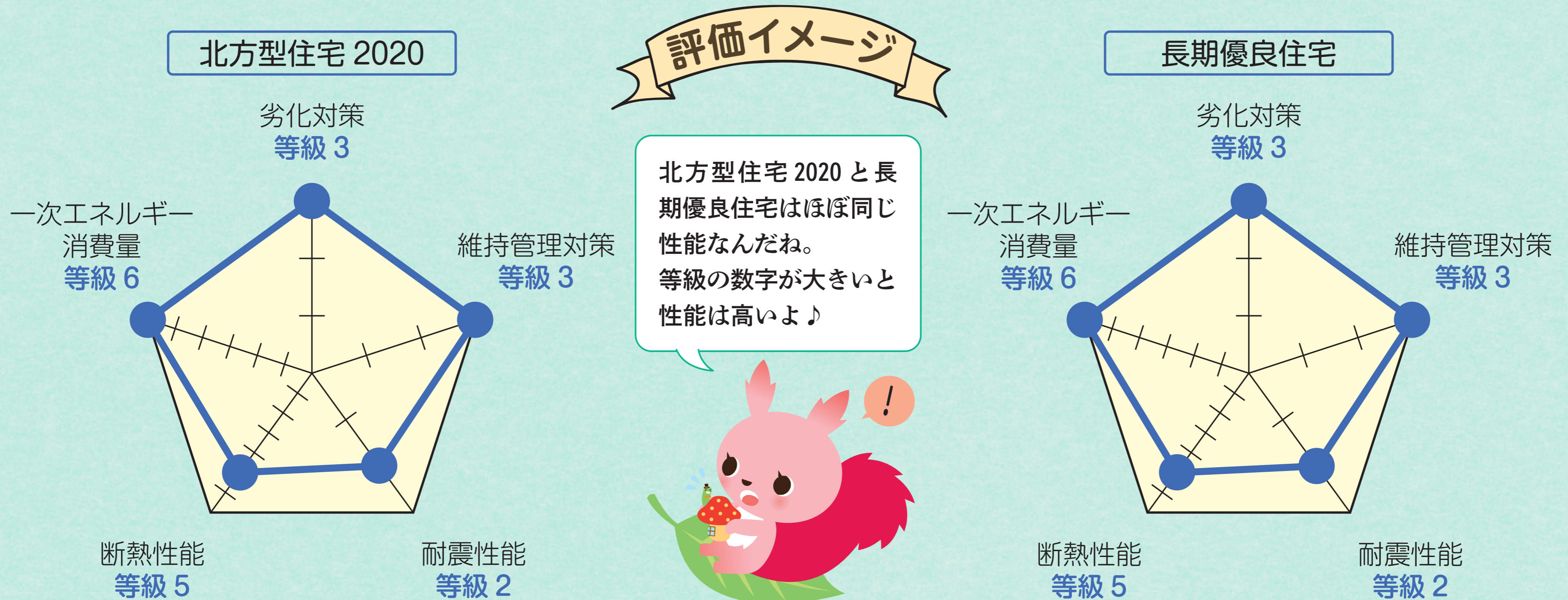
この5つの性能は、住宅を建てる人の関心が高く、建設後に調査しにくいいため、
性能表示の必須項目となっているよ。



※1：住宅で使用する電気・灯油・都市ガスなど（二次エネルギー）を一次エネルギー（石油・石炭・天然ガスなど）に置き換え、
どのくらい消費したかを表すもの。
 ※2：「住宅の品質確保の促進等に関する法律」に基づく制度。上記5つの性能を含む10分野の性能を等級などで表わします。（H12創設）
 ※3：登録住宅性能評価機関として登録された機関。北海道建築指導センターも指定されています♪

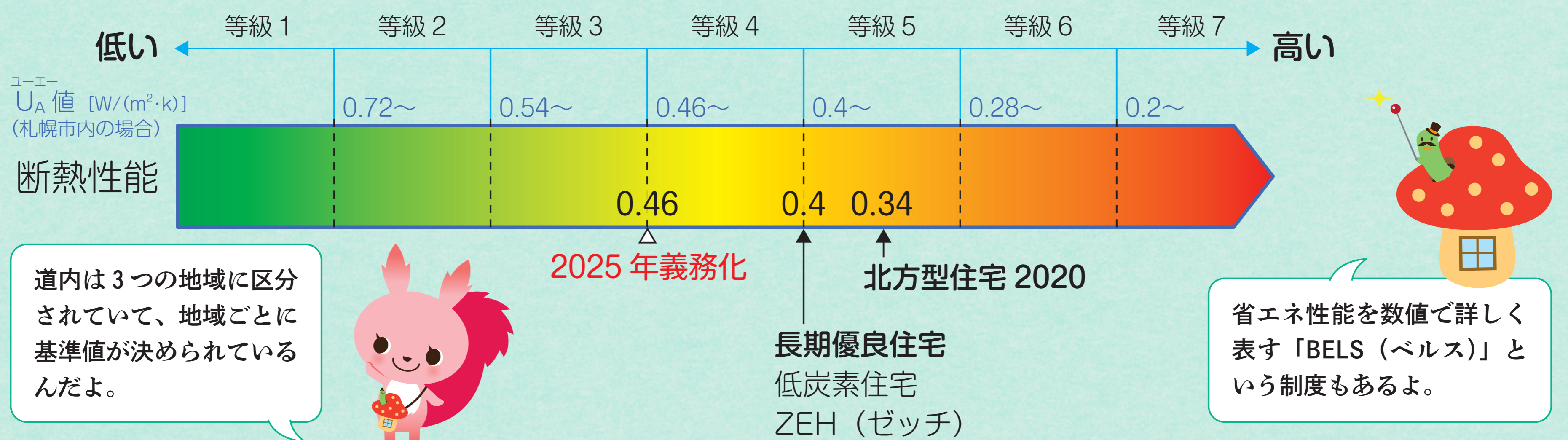
いろいろな住宅を 等級で見てもみよう

北海道がおススメする北方型住宅 2020 と
国で制度化されている長期優良住宅で、この等級をチェックしてみよう！



性能表示は、全国共通の制度なので、わかりやすく伝えやすい♪
あなたはどの性能を重視しますか？

断熱性能について、もう少し詳しく見てみよう！



北方型住宅 2020 北海道に適した住宅として北海道が推奨する住宅。5つの性能以外に気密性能、高齢者や景観等地域性に配慮した基準が設けられています。2020年に新たな基準がつけられました。

低炭素住宅 「都市の低炭素化の促進に関する法律」に基づく認定住宅。高効率設備の設置など二酸化炭素(CO₂)の排出を抑えるための対策をとり、環境に配慮した住宅。(H24創設)

長期優良住宅 「長期優良住宅の普及促進に関する法律」に基づく長期にわたり良好な状態で使用するための措置が講じられた優良な認定住宅。5つの性能以外に維持管理計画など長期使用に配慮した基準が設けられています。(H21創設)

ZEH (ゼッチ) 「Net Zero Energy House」の略語。断熱性能や省エネ性能を向上し、さらに太陽光発電などで生活に必要なエネルギーをつくり出すことにより、年間の一次エネルギー消費量をおおむねゼロにする住宅。



住宅事業者を探してみよう！



どこに聞けばよいのかわからないけど、良質な住宅を建てたい！
そんな時はまず、「きた住まいるメンバー」を検索してみよう！

道内各地に設計事務所や工務店など
300社以上あり、お住まいの地域に
絞って検索できます



きた住まいる
メンバー検索画面

きた住まいるメンバー一覧はこちら



「きた住まいるメンバー」ってなに??



北海道が定めたルールを守り、良質な住宅を建てた実績や技術力がある、北海道がおすすめする住宅事業者です。



ルール① 基本性能の確保

「長寿命」「安心・健康」「環境との共生」「地域らしさ」の4つの基本性能を確保することができます。

ルール② 専門技術者（BIS・BIS-E）による設計・工事

BIS・BIS-Eは、「北方型住宅」を設計・建設するために必要な技術者の専門資格として制度化され、北海道に適した住宅の知識をもっています。

ルール③ 専用のサポートシステムで住宅履歴情報の保管

北海道が運用する「きた住まいるサポートシステム」です。
新築時の情報のみならず、点検やリフォームの履歴なども記録が可能です。

北海道の優良な住宅事業者「きた住まいるメンバー」が、「北方型住宅」を建設します。



一般財団法人
北海道建築指導センター



まるっとワンストップ

(一財)北海道建築指導センター

住宅相談 (無料)



面談と電話で住宅相談窓口を開設しています。

一般相談：
平日午前10時～午後4時
法律相談：
毎月第2・4火曜日
午後1時～午後4時 (要予約)

審査業務

様々な審査・検査を行っています。

建築確認検査 性能評価
BELS 評価 長期優良住宅
低炭素住宅 瑕疵保険
補助金の技術審査
フラット35 適合審査 など



住宅講座 (無料)



一般消費者の皆様を対象に新築・リフォームなどその時のニーズに対応した様々なテーマで開催しています。

情報提供

北方型住宅の普及イベントの実施や支援をしています。北の住まいに関する資料の無料配布もしています。



技術講習会

北国にふさわしい住宅の建設に関する講習会や現地見学・セミナーを技術者向けに開催しています。



履歴保管

設計図面や施工写真など家づくりに関する住宅情報の履歴を30年間保管(きた住まいのサポートシステム)します。



お問合せは
こちらまで



住所 札幌市中央区北3条西3丁目1番地
札幌北三条ビル 8F
TEL 011-241-1893
FAX 011-232-2870
営業時間 9:00~12:00 / 13:00~17:30
(土日祝・夏季休業日・年末年始除く)

